

## 岩手地域公共交通網形成計画における「幹線路線の将来的な公共交通ネットワークの方向性」と「現状とこれまでの主な取組」について

圏域	ネットワークの方向性（現行計画）	現状とこれまでの主な取組
盛岡-県北	①幹線路線として「IGRいわて銀河鉄道」を維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、沿線市町による経営支援により路線を維持。</li> <li>・県、沿線市町で構成するいわて銀河鉄道利用促進協議会による利用促進の取組を実施。</li> </ul>
	②九戸村-葛巻町間の広域バス路線「葛巻線」の利用促進の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葛巻線（県北バス：ふれあい広場（九戸村）～葛巻中学校前）は、県単補助により路線を維持。</li> <li>・葛巻町は、葛巻線全区間（九戸村内含む）を片道 100 円で乗車できるよう事業者に助成。</li> <li>・県の IC カード導入補助を活用した IC カードの導入等の利用促進の取組を実施。</li> </ul>
	③葛巻町-一戸町-岩手町の広域バス路線「吉ヶ沢線」等の見直しの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉ヶ沢線（県北バス：いわて沼宮内～中山（一戸町）～吉ヶ沢（葛巻町））は R2.3 で廃止。</li> <li>・中山線（県北バス：いわて沼宮内駅～中山）は、吉ヶ沢線の廃止を受け、利用実態に合わせたダイヤ改正を実施し、平日のみの運行系統として、県単補助により路線を維持。</li> <li>※ 中山～吉ヶ沢間の公共交通はなくなったこと。</li> </ul>
	④久慈市-葛巻町間の広域バス路線「平庭高原線」の利用促進の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平庭高原線（白樺号、ジェイアールバス東北：盛岡駅・盛岡 BC～久慈駅）は、国庫補助により路線を維持。</li> <li>・事業者、沿線市町が連携したイベント企画の実施、県の IC カード導入補助を活用した IC カードの導入等の利用促進の取組を実施。</li> </ul>
盛岡-県南	⑤盛岡市-西和賀町間の広域バス路線「山伏線」の利便性向上と採算性確保に向けた見直しの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山伏線（県交通：ほっとゆだ駅前～盛岡 BC）は R2.9 で廃止。</li> <li>・西和賀町は、県立中央病院を経由する等の経路見直しや盛岡 BC 発時刻を早める等のダイヤ調整を実施した上で、コミュニティバスを運行。</li> </ul>
盛岡-沿岸	⑥岩泉町-盛岡市間の広域バス路線「早坂高原線」の利用促進の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早坂高原線（ジェイアールバス東北：盛岡駅～龍泉洞前）は、国庫補助により路線維持。</li> <li>・岩泉町による JR EAST PASS 等利用者向けの龍泉洞観覧料割引の実施や、県の IC カード導入補助を活用した IC カードの導入等の利用促進の取組を実施。</li> </ul>
	⑦JR 山田線（盛岡市～宮古市）と 106 急行線の共存・相互補完	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮古盛岡横断道路の全線開通に伴い、R3.4 から所要時間が 40 分短縮される特急便（県北バス：盛岡駅～宮古駅）の運行が開始。</li> <li>・106 特急・急行及び JR 山田線は相互補完し共存。</li> <li>・106 急行は、国庫補助により路線を維持。</li> </ul>

圏域	ネットワークの方向性（現行計画）	現状とこれまでの主な取組
盛岡-県南-沿岸	⑧JR 釜石線と幹線路線「盛岡釜石線」の共存・相互補完	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡釜石線及び JR 釜石線は相互補完し共存。</li> <li>・盛岡釜石線（県交通：釜石駅～盛岡駅）は、R4.6 から釜石自動車道経由に経路変更し、所要時間が従来よりも 30 分短縮。</li> </ul>
	⑨盛岡・県南と沿岸部を繋ぐ重要な幹線路線「大船渡盛岡線」の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大船渡盛岡線（県交通：大船渡駅～盛岡 BC）は、R4.7 から一部便を釜石経由に変更した上で岩手医大への乗入を開始。</li> <li>・R5.4 より、医大停留所の乗降が少ない状態が続いたことから、医大への乗入を休止する予定。</li> </ul>
盛岡-県南-宮城県	⑩幹線路線としてJR 東北本線を維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5.5 より、Suica 対応エリアの拡大による利便性向上</li> </ul>
盛岡-秋田県	⑪幹線路線としてJR 花輪線を維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 花輪線利用促進協議会による利用促進を実施（90 周年記念号運行に伴う記念品配布）。</li> </ul>
	⑫JR 田沢湖線の新駅が整備予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5.3.18 に JR 田沢湖線「前潟駅」が開業。</li> </ul>
県南-沿岸	⑬県南と沿岸部を繋ぐ重要な幹線路線「一関大船渡線」の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一関大船渡線（県交通：一関～千厩～気仙沼～陸前高田～大船渡）は、1 日 1 往復（平日・土日祝）で運行。</li> </ul>
	⑭幹線路線としてJR 釜石線を維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・釜石線沿線活性化委員会による利用促進を実施（SL 銀河歓迎イベント、パンフレット作成）</li> </ul>
県南-秋田県	⑮幹線路線としてJR 北上線を維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 北上線利用促進協議会による利用促進を実施（グループ利用助成、沿線御朱印めぐり等）</li> </ul>
県南-宮城県	⑯岩手・宮城県を跨ぐ都市間輸送の位置づけの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一関気仙沼線（県交通：一関～気仙沼）は、1 日 2 往復（平日のみ）で運行。</li> </ul>
沿岸	⑰幹線路線である「三陸鉄道リアス線（復旧前の JR 山田線（宮古-釜石間））の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、沿線市町村による経営支援により路線を維持。</li> <li>・県と沿線市町村で構成する三陸鉄道強化促進協議会による利用促進の取組を実施。</li> <li>・H31.3 に、三陸鉄道リアス線「八木沢・宮古短大駅」、「弘川駅」を開業。</li> </ul>
沿岸-県北	⑱幹線路線である「三陸鉄道北リアス線」を維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、沿線市町村による経営支援により路線を維持。</li> <li>・県と沿線市町村で構成する三陸鉄道強化促進協議会による利用促進の取組を実施。</li> </ul>
	⑲三陸鉄道リアス線「新田老駅」の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2.5 に、三陸鉄道リアス線「新田老駅」開業。</li> </ul>
沿岸-宮城県	⑳幹線路線である三陸鉄道・JR・大船渡線 BRT を維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、沿線市町村による経営支援により路線を維持。</li> <li>・県と沿線市町村で構成する三陸鉄道強化促進協議会による利用促進の取組を実施。</li> </ul>
県北-青森県	㉑幹線路線としてJR 八戸線を維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR 東日本による TOHOKU EMOTION の実施。</li> </ul>

岩手地域公共交通網形成計画における「広域振興圏ごとの将来的な公共交通ネットワークの方向性」と「現状とこれまでの主な取組」の概要について

※各地域別部会で共有された現状と主な取組のうち、主なものを抜粋し、路線情報等を事務局で補足したもの。

圏域	ネットワークの方向性（現行計画）	現状とこれまでの主な取組
盛岡	②雫石町（網張）方面、滝沢市（大釜）方面の広域バス路線の見直し	・網張温泉線（県交通：盛岡 BC～網張温泉）については、小岩井農場以北の利用者が少ないことから、H31.4 に路線の見直しを行い、小岩井農場までに区間を短縮した路線として継続。
	③繋鶯宿方面の広域バス路線の利用促進	・R4.9 に国庫補助路線である繋鶯宿線（県交通：盛岡 BC～鶯宿温泉）が廃止。R4.12 に雫石営業所が閉鎖。一方、雫石線（県交通：盛岡 BC～雫石駅前）は、国庫補助により維持。
	⑦盛岡市、滝沢市の地域公共交通網形成計画との整合	・R4.10 に盛岡バスセンターが開業。一時的に盛岡駅発着となっていた便をバスセンター発着に戻すなど、交通結節点として機能が本格的に開始。
県南	①花巻空港-北上工業団地を結ぶ広域バス路線の検討	・3年間（R2.4～R5.3）の実証運行として空港シャトルバス（東日本交通：花巻空港～北上工業団地）を運行し、R5.4 から本格運行の予定。
	②北上市の地域公共交通網形成計画・アクションプランと西和賀町の方針との整合を図った検討	・R2.9 に県単補助路線である北上線（県交通：ほっとゆだ駅～北上駅）が廃止となり、乗合タクシーの増便やコミュニティバスの運行により代替交通を確保。 ・R3.3 に県単補助路線である貝沢線（県交通：ほっとゆだ駅～貝沢（西和賀町））が廃止となり、既存のコミュニティバスを拡大することで代替交通を確保。
	③奥州市の既存計画の更新の動向を踏まえた検討	・R5.4 に生母線（県交通：胆沢病院～生母（奥州市））の重複路線となるコミュニティバス路線を廃止し、路線の統合を実施予定。
	⑤花巻市地域公共交通網形成計画との整合を図った検討	・R3.12 にイトーヨーカドー花巻店にバス待合所を整備。 ・デマンド交通を市内4地域で実施し、広域バス路線に接続（花巻駅、土沢駅等）。
	⑧一関市街地を東西に結ぶ広域バス路線の見直し	・市街地の重複路線を整理し、R4.10 から市街地循環バスを運行開始（県交通）。

圏域	ネットワークの方向性（現行計画）	現状とこれまでの主な取組
沿岸	③大船渡市、陸前高田市、住田町の高校通学路線の見直しの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R2.9 に国庫補助路線である中井線（県交通：県立大船渡病院・盛駅～中井（住田町））が廃止となり、大船渡住田線（県交通：県立大船渡病院・盛駅～住田高校前）として経路を短縮して運行。</li> <li>・ R2.3 に国庫補助路線である崎浜線（県交通：県立大船渡病院・盛駅～崎浜（大船渡市））が廃止となり、代替交通として越喜来の崎浜地区で三陸鉄道の三陸駅と接続したデマンド交通を運行。</li> <li>・ R4.10 で陸前高田住田線（県交通：イオン陸前高田～住田高校）が土日の運行を終了。R5 年度から陸前高田市、住田町共同で土曜日のみ代替交通の運行を予定。</li> </ul>
	⑥県立大船渡病院直通利用路線の見直しの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R4.12 に県単補助路線である細浦経由高田線（県交通：立根（大船渡市）～竹駒（陸前高田市））が廃止。（R4.9 廃止予定であったが、大船渡市と陸前高田市が独自に補助を継続し、R4.12 末まで運行。）</li> </ul>
県北	①軽米町-二戸市間の利用促進の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学支援を実施。</li> </ul>
	②二戸市内の広域バス路線の見直しの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二戸線（ジェイアールバス東北：浄法寺～仁左平）は、令和4 事業年度は国庫補助要件を満たせず、県単補助で支援。</li> </ul>
	⑥大野地区-久慈市間の利用促進の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月1 回、関係者による担当者会議を開催し、ダイヤ改正に向けた調査や大野線（県北バス：久慈駅～陸中大野（洋野町））を活用したイベントを検討。</li> </ul>